



栃木市 都賀町

こすってみてね！

いい香り～

ふれあいバス時刻表					
		(真名子線 関東自動車線)		Tel 0282-23-2291)	
柄木駅発	10:00	11:27	13:25	14:50	
	↓	↓	↓	↓	
つがの里着	10:42	12:09	14:07	15:32	
つがの里発	12:26	13:52	15:51	16:34	
柄木駅着	13:08	14:34	16:33	17:16	
※土・日・祝日のみの運行となります。					

(版木県版木市都賀町家中5982番地1
TEL.0282-29-1104
FAX.0282-28-0169

■ おのれの力の里
1. 佐々木洋一 92-0008
2. 公園運動場 27-5133
3. 阿賀町商工會 27-4488
4. JA直営所「生出宿里の限り」 91-1181
5. 大林村活気の里大久里 92-2314
6. 花之江の郷(野の花自然園) 92-8739
7. 大林花山(栎木植物園) 92-0871

主教公聰體多才才內 (0282)

TSUGA MACHI INFORMATION



期会の おきてばし

栃木市都賀町は、首都圏域内の栃木県南部に位置しています。

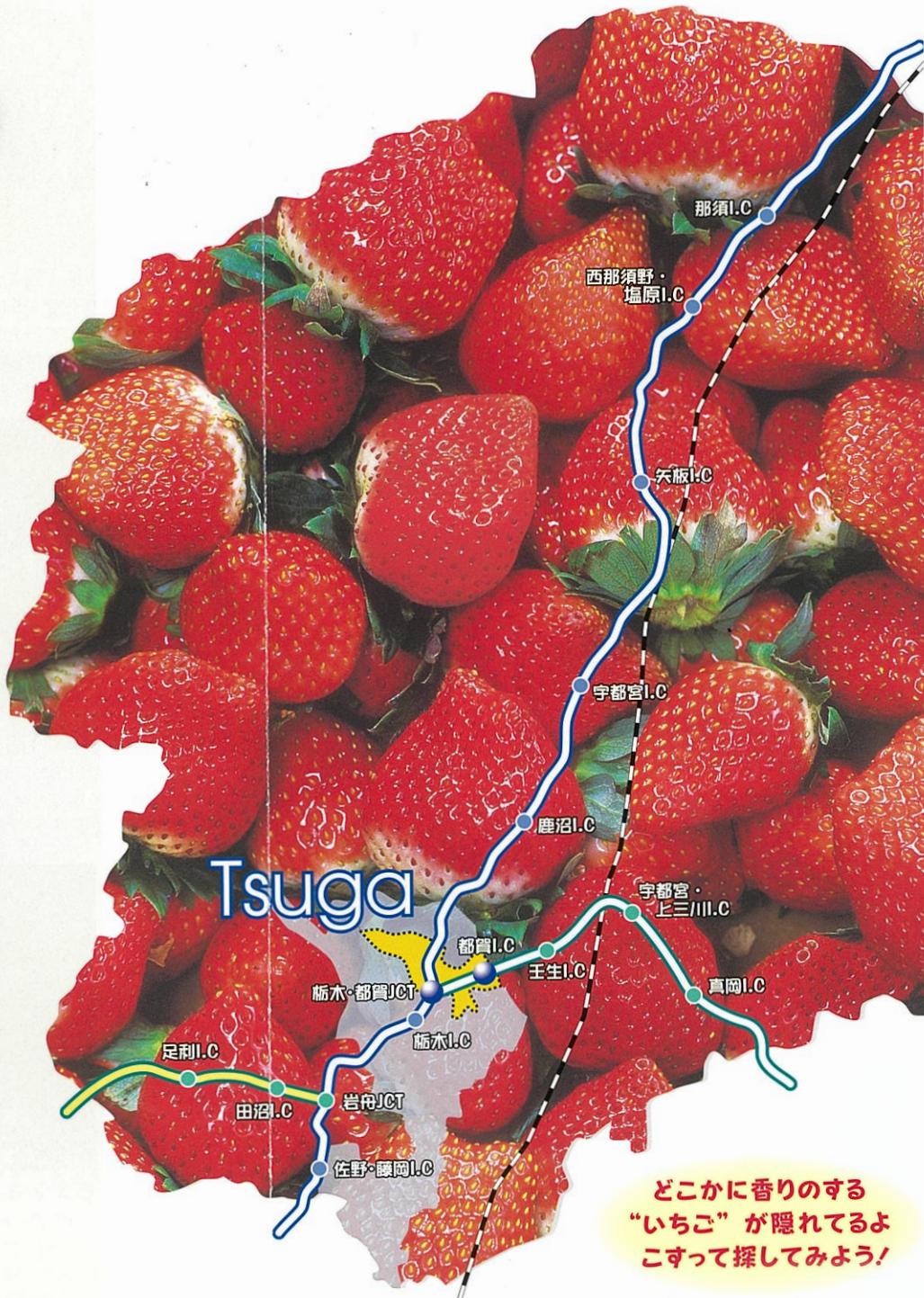
鉄道は東武日光線が縦貫しており首都東京に80分、県都宇都宮市に40分の距離にあります。

道路は、北関東自動車道が町内を横断し、都賀ICが町の玄関となっているのを始め、東北自動車道 栃木ICより3kmと至近距離にあります。加えて国県道が四方にアクセスしており、交通の利便性に優れています。

主な産業は、米麦を中心とした農業で、他にイチゴ・トマト・ニラ・花卉等の栽培が盛んです。

町内には、日光を開山した勝道上人ゆかりの史跡が点在するほか、戦国時代に宇都宮氏と栃木の皆川氏が激突した古戦場の名残をとどめる史跡があります。また、江戸時代には日光例幣使街道の宿場町として賑わい、当時から伝わる古武術や獅子舞などの伝統芸能が大切に保存されています。

表紙／Photo
つがの里
上 段：ファミリーパーク
下 段：山桜（樹齢170年）（見頃、4月中旬）



どこかに香りのする
“いちご”が隠れてるよ
こすって探してみよう!

花と歴史ロマン <東京ドームの5.2個分の広大な敷地>

つめさと

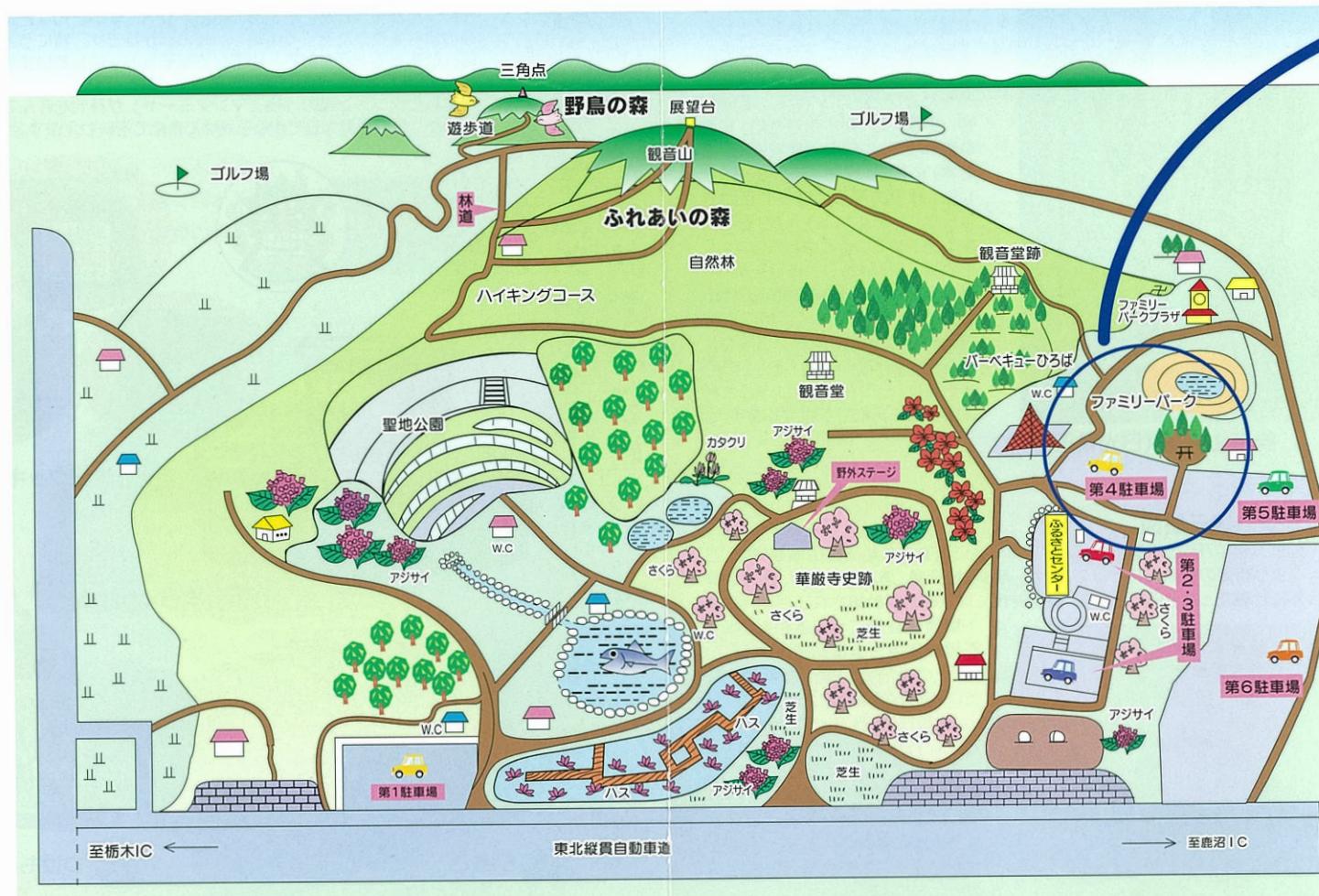
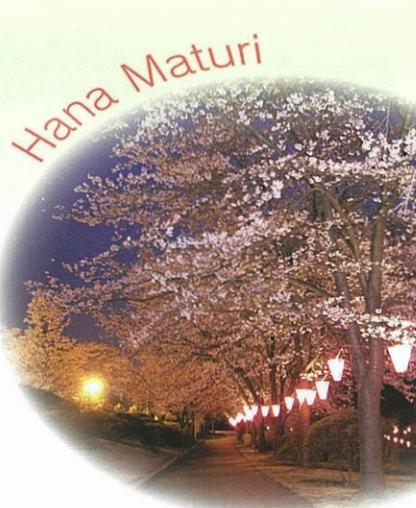
●ふれあいの森

山頂にある展望台より関東平野を一望することができます。

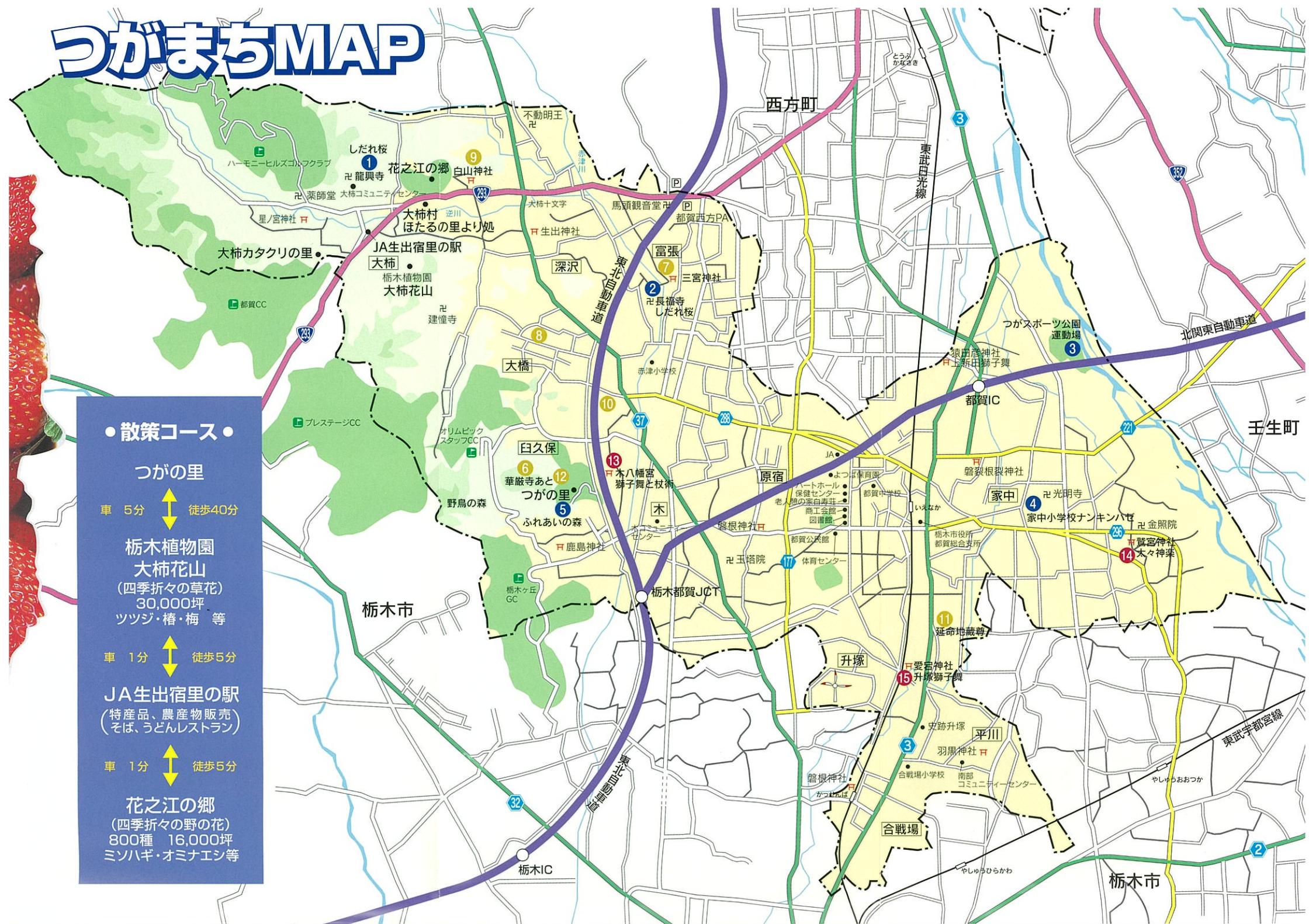
林内にはヤマツツジ・ヤマハギ・ニシキギなど四季折々の花が楽しめます。

●野鳥の森

森林の大部分はコナラ・ヤマザクラなどの広葉樹林で花や実のなる木で、林内にはコゲラホオジロ等の多くの野鳥が観察できます。



つがまちMAP



ふるさとセンター

TEL.0282-92-0008

憩いの場・安らぎの場・研修の場として利用できる文化施設、特産品販売コーナー(旬の野菜・筍等)桔梗会による食事処の手打ちうどん、手作り豆腐等の食事・販売。

○利用時間 午前9時から午後5時

○休館日 ・月曜日及び火曜日
・年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）
・その他センターの管理上特に必要がある日

○使用申込み手続き

ふるさとセンターに用意してある使用申込み書を所長宛に提出してください。

申込み書用紙は、事務室受付にあります。

研修室1 (和室)	1時間あたり	300円
研修室2 (和室)	1時間あたり	300円
研修室1・2	1時間あたり	900円
大広間 (貸切)	1時間あたり	2,000円

予約を受け取ったご利用の方は、一か月前までの予約を無料とし、以降は料金の50%に課せられます。

藤糸うどんの店「桔梗」

<営業日及び営業時間>

★営業時間午前11時30分から午後2時（月・火曜日は休業日）

★花まつり期間（4月上旬から5月連休まで）は、毎日営業しています。

★団体様10名以上の予約を承っておりますので、お申込みください。



ファミリーパーク TEL.0282-92-0333

コンビニエンス遊具・ザイルタワー・アスレチック遊具等の子ども向け遊具のほか、バーベキュー施設もあります。

ファミリーパークプラザ

バーベキューの予約受付を行っています。また休憩室、会議室、研修室があり、来園の際お気軽にご利用できます。

○休館日 ・月曜日及び火曜日

・年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

○利用料金 団体（10名以上）予約で占用する場合のみ下記料金がかかります。

会議室	1時間あたり	300円
第1研修室	1時間あたり	300円
第2研修室	1時間あたり	300円

会議室（和室のほか） 1時間あたり 1,000円

バーベキュー場

○利用期間 4月1日から11月30日 午前9時30分から午後4時

○利用料金 1基 1回あたり 1,500円

（鉄板、ガスコンロ、ガス代、フライ返し、たわし、洗剤含む）

*指定場所以外での使用はできません。燃料は持込禁

止ですのでご注意ください。

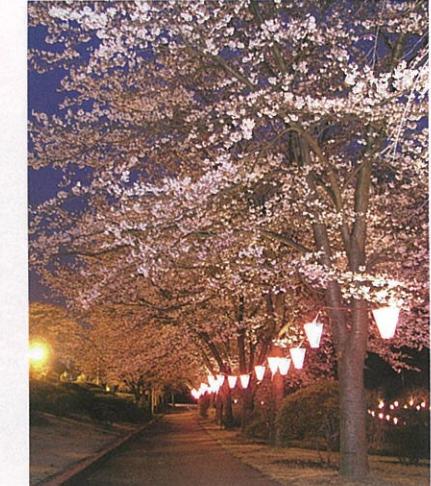
つがの里 はな さり さり 花彩祭

毎年4月に開催!!

つがの里園内を4種の桜（ソメイヨシノ・シダレザクラ・ヤマザクラ・ヤエザクラ）が咲き乱れ、賑やかな春を演出します。



つがの里シンボル桜 愛称「つがの里桜」



夜桜

彩
り

春の訪れを告げるのはカタクリの里。

3月下旬、大柿の里山一面がカタクリの花の可憐な薄紫に染まると、

躍動の季節のはじまりです。

桜の便りが届くのは4月上旬。

とちぎ名木百選の一つ、龍興寺のしだれ桜をはじめ

町内各所の桜が一斉に開花し、まちは華やいだ雰囲気に包まれます。

そして、桜が咲き匂うつがの里では「花彩祭」が行われ、

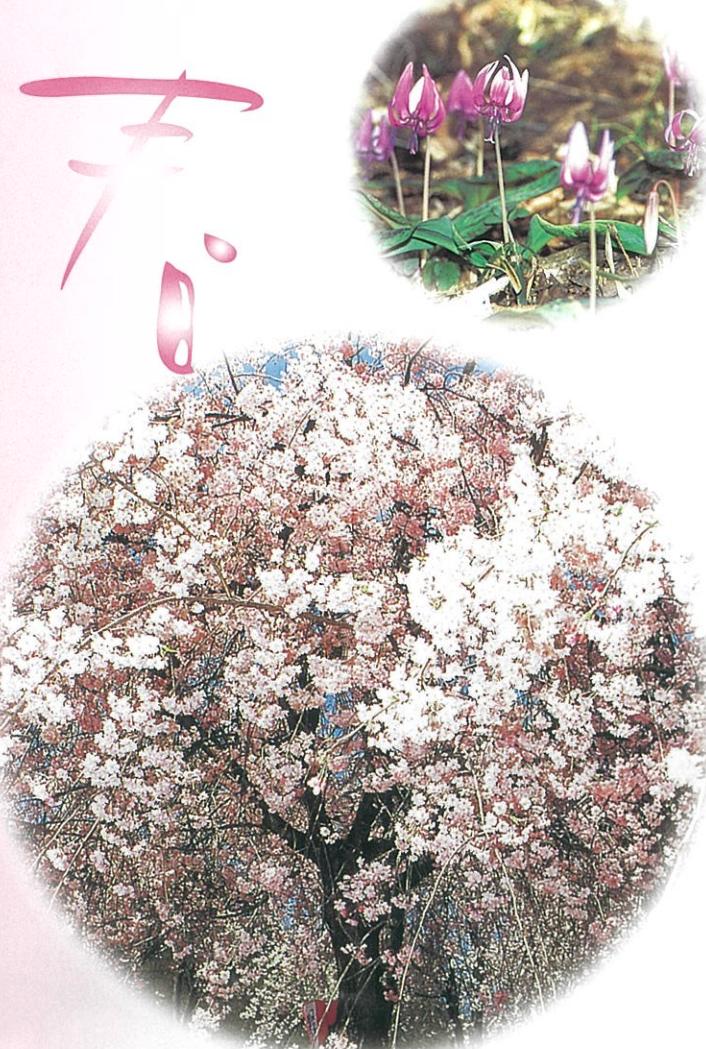
ツツジの咲く5月の上旬までの期間、町内外から訪れる

多くの人たちでにぎわいます。



①とちぎ名木百選 龍興寺のしだれ桜（見頃 4月上旬）

②長福寺のしだれ桜
(見頃 4月上旬)



つがの里にアジサイ・ハスが咲きはじめると、
本格的な夏を迎えます。
つがの里ファミリーパークには、児童向けの遊具や
バーベキュー場があり、家族連れやグループの利用が盛んです。
思川沿いに整備されたつがスポーツ公園運動場は、
夏に最も輝きを増す水と緑のスポット。
水遊びやキャンプ、スポーツと、夏を謳歌する人々でにぎわいます。



③つがスポーツ公園運動場

思川河川敷は自然環境を利用した水と緑とスポーツの空間。
せせらぎ水路・じゃぶじゃぶ池。

整備された広い水田に、豊かに実った黄金色の稲穂が波打ち、
山里に白いそばの花と真赤な彼岸花が咲き出すと、
いよいよ収穫の季節。

やがて山野の木々も色づいて紅葉の秋も本番となります。

秋はまた、祭やイベントも目白押し。

町内各地の神社では秋祭りが行われ、杖術や獅子舞、神楽などの伝統芸能が奉納されます。



遠く望む日光の山々がうっすらと雪化粧をはじめると、
冬は駆け足でやって来ます。

そして、時折り降る雪が新鮮な光景を描き出し、
日常とは異なる静寂の世界を演出してくれます。



④観音堂

1744年に再建され華厳寺堂塔の中で唯一町内に現存する
ものです。

⑤富張三の宮神社

後冷泉天皇の天喜五年(1057)源義家が祀ったとされています。
寛文年間(1661~72)領主武蔵国岩槻藩主阿部伊予守
寄進の花崗岩の大鳥居があり綱吉時代の宝永四年(1707)
正一位を授与されている。神楽岡は神社後方にあります。義家が
この地に至り、遠見張りをおいたので「富張」神樂を奏したので、
この岡を「神楽岡」と呼ぶようになったと伝えられています。

⑥深沢のかわらけ山

天平十三年(741)聖武天皇は諸國に国分寺・國府尼寺建立
の詔を出す。下野国分寺・尼寺も建立するが、その時使用し
た瓦を焼いた窯跡、いまでも瓦片が出土する。

⑦大柿白山神社

神護景雲年間(767~769)加賀白山より勧請。主祭神は伊
佐奈岐・伊佐奈美命永仁五年(1297)再建・文明元年
(1469)修繕・寛文年間拝殿改修。

⑧大橋八幡宮

下野國誌に綾津日八幡とあり、祭神は大綾津日神。相殿に八
幡宮を祀る。陽成天皇の元慶三年(879)從五位下を授けられ
ている。大綾津日神は大禍津日神の別の名。八幡は前九年の役
(永承六年~1051)源賴義が陸奥下向の折り勧請し
相殿に八幡宮を祀ったもの。承徳元年(1097)洪水により
流失、永正年中(1504~20)野火のため焼失。永祿元年
(1558)再営・同年十一月五日神靈を移す。



史跡や伝説が残るのどかに広がる自然の中に、
耳を澄ませば古人の語らいが聞こえてくる。

